

発行日 令和元年12月27日

エコアクション21 環境活動レポート



平成30年度版

活動期間 平成30年10月 ~ 令和元年9月

サガ電子工業株式会社

目 次

- 1・組織の概要
- 2・実施体制
- 3・環境経営方針・行動方針
- 4・環境経営目標・実績
- 5・環境経営活動計画（1）
- 6・環境経営活動計画（2）
- 7・過去 10 年間の水使用量及び電力使用量
- 8・環境経営活動の取組の結果
- 9・次年度の取組内容
- 10・環境関連法規の遵守状況、違反・訴訟の有無
- 10・代表者による評価と見直し



組織の概要

会社概要

事業所名	サガ電子工業株式会社
代表者氏名	小柳謙治
所在地	〒849-0903 佐賀県佐賀市久保泉町下和泉1958-14
	〒849-0934 佐賀県佐賀市開成二丁目7-13

責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者	橋本 健
事務局	芹田 美咲
連絡先	TEL: 0952-37-8805 FAX: 0952-37-6334 E-mail: info@sagant.co.jp

事業内容

・各種無線通信用アンテナの 製造と販売
 ・移動体通信用・業務用無線・アマチュア無線・放送中継用
 ・無線LAN用・特定小電力用・RFID用・FM送信用 など

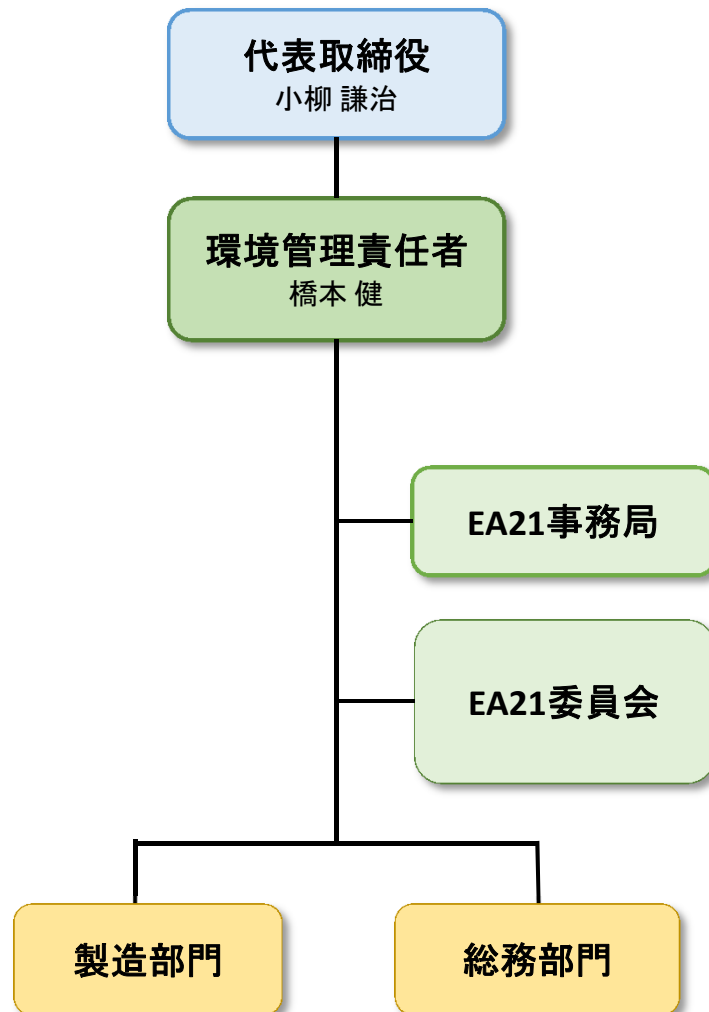
事業活動の規模

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上(百万円)	152	147	159
従業員数(人)	18	20	21
床面積(m ²)	807	807	807



認証登録の対象範囲 : 全組織・全活動

実施体制



代表取締役	全体統括、環境経営方針の設定、環境への取組を実施する為の資源の準備
小柳 謙治	
環境管理責任者	全体を把握し、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長へ報告する
橋本 健	
EA21事務局	EA21文書及び記録書類の作成・維持・管理
芹田美咲	
EA21委員会	1回/3ヶ月開催し、環境経営目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
総務部門	電力、車両燃料、灯油、水消費量の管理
製造部門	産業廃棄物の排出量管理

環境方針

基本理念

サガ電子工業株式会社は、アンテナ製造業の事業活動において、常に環境への影響を配慮しながら業務を行うことが重要であると認識しています。環境への共生・調和、環境への取組を最重要課題として、自らに責任を持ち全社一丸となって自主的に事業活動に取り組めます。

行動方針

- ◇事業活動において、使用する電力や燃料などを節約し、エネルギーに頼らなくても快適な環境に保てるよう工夫して、二酸化炭素の排出量削減を推進します。
- ◇MG827シリーズの生産において不良を低減させ、生産方式を改善し、高効率の生産に取り組めます。
- ◇事業所内から排出される廃棄物の削減に努めます。
- ◇事務用品等のグリーン調達に努めます。
- ◇環境関連法規制等を遵守すると共に、業務手順を整備して適切な処理に取り組めます。
- ◇全製品においてRoHS指令に適合した材料の使用を推進します。
- ◇以上の本方針を全社員が周知し環境経営システムの継続的改善に取り組めます。



作成:平成18年10月12日
施行:平成18年11月01日
改訂:平成26年10月01日

佐賀市久保泉町下和泉1958-14
サガ電子工業株式会社
代表取締役 小柳謙治

環境経営目標

二酸化炭素排出係数は九州電力株式会社
平成24年度の値を使用。(0.612 kg-CO₂)

化学物質は平成24年度よりPRTR法除外品へ代替え済。

環境負荷実績

項 目	目 標					環 境 負 荷	
	単 位	基 準 値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実 績	達 成 率
1.二酸化炭素排出量 (3年間で5%削減)	kg-CO ₂	21669 平成29年度	21308以下	20953以下	20604以下	20841	100%
1-1電力使用量の削減 (3年間で5%削減)	kWh	35214 平成29年度	34627以下	34050以下	33482以下	33862	100%
1-2灯油使用量の削減 (3年間で5%削減)	L	36 平成26年度	35.4以下	34.8以下	34.2以下	0	100%
1-3軽油使用量の削減(車両更新) (3年間で5%削減)	L	50	49.2以下	48.4以下	47.6以下	45	100%
2.MG827シリーズ不良率の削減 年平均0.1%以下を維持	%	0.1 平成26年	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0	100%
3.産業廃棄物排出量 (20kg以下を維持)	kg	20 平成22年度	20 以下	20 以下	20 以下	18	100%
4.水使用量 (100m ³ 以下を維持)	m ³	100 平成26年度	100 以下	100 以下	100 以下	134	75%
5.グリーン対象商品の使用推進	%		70% 以上	70% 以上	70% 以上	100.0%	100%
6.省資源型製造方法の確立	件		2件 以上	2件 以上	2件 以上	2件	100%
7.製品のRoHS適合化			確認する	確認する	確認する	適合	確認済

環境経営活動計画

二酸化炭素排出量の削減（全体）

- 電力使用量の削減
- ◇業務に支障のない範囲で、照明の消灯を行なう。
 - ◇空調機の設定温度を 夏 28℃, 冬 20℃ に定める。
 - ◇冬は防寒着を着用し、暖房による消費電力を抑える。
 - ◇半田ごてのプリヒーターの電源はこまめに消す。
 - ◇コピー機、パソコンは待機時に省エネモードに設定する。
 - ◇薪ストーブ、すだれ、水クーラーの設置により、消費電力を抑える。
- 灯油使用量の削減
- ◇石油ストーブに頼らなくていいように防寒着などで工夫する。

省資源型製造方法の確立（製造部門）

- ◇生産性の向上。
- ◇ハンダ付けに頼らないような構成部品的设计見直し。



環境経営活動計画

軽油使用量の削減（全体）

- ◇駐停車時のアイドリングストップ、急発進、空噴かしを抑制する。
- ◇同方向(使用目的)等の連絡を密にし、自動車使用の効率化を図る。
- ◇効率的な運行経路を推進する。

産業廃棄物の削減（全体）

- ◇分別回収を徹底的に行い、再資源化する。
- ◇産業廃棄物はマニフェストにより処理する。
- ◇文書の電子化、両面印刷や裏紙の使用などによりペーパーレス化。
- ◇ダンボール・新聞紙・雑誌等を古紙回収として再生利用へ。

水使用量の削減（全体）

- ◇水道の蛇口はこまめに閉める。
- ◇洗面所、トイレなどに節水の張り紙を行なう。

グリーン対象商品購入（全体）

- ◇事務用品購入の際にグリーン対象商品を優先して購入する。

製品のRoHS適合化（全体）

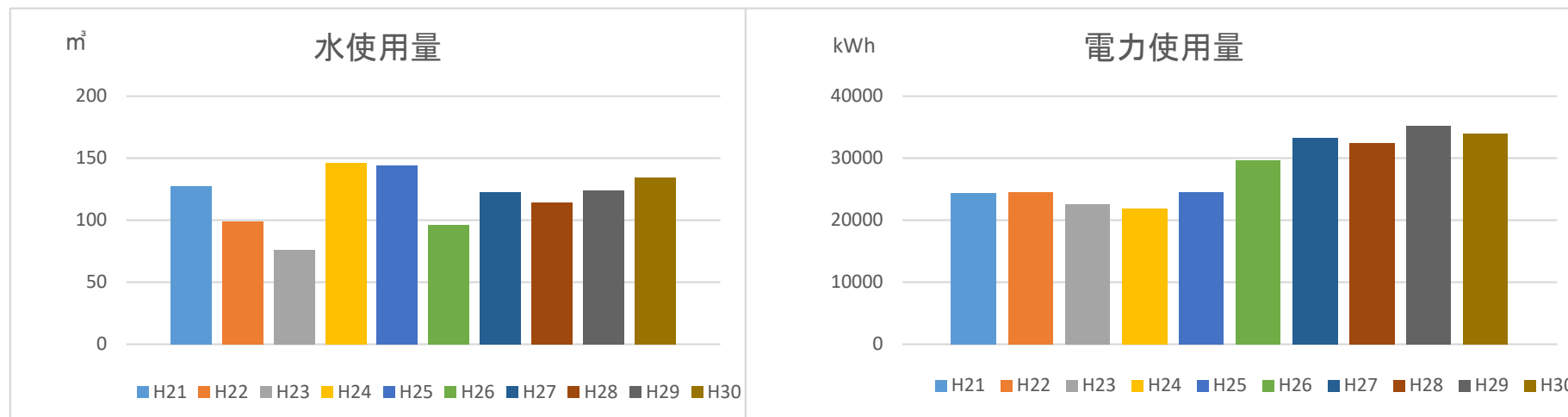
- ◇部品仕入先より適合品かどうかを確認する。

MG827シリーズの不良率の低減（製造部門）

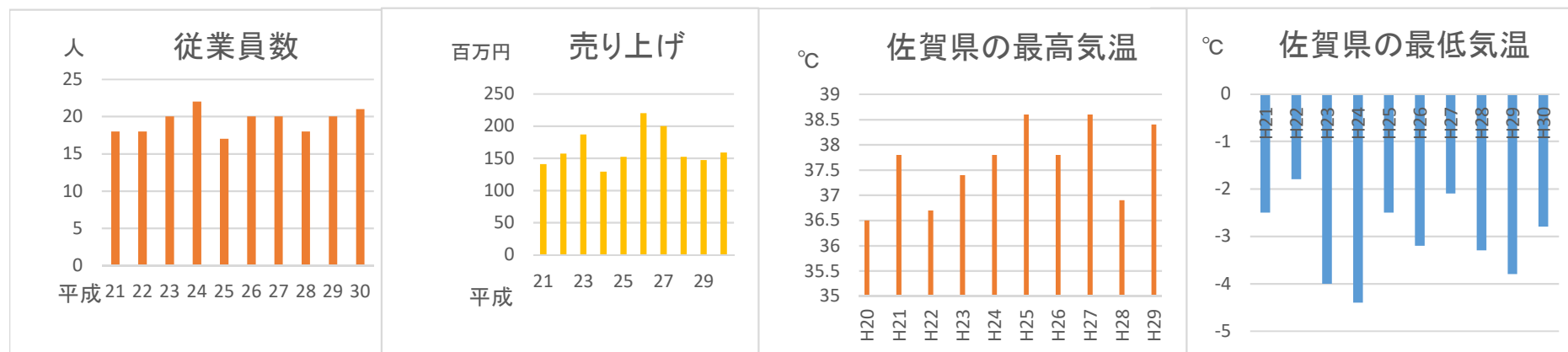
- ◇ケーブル加工機の定期的なメンテナンス
- ◇工程の改善



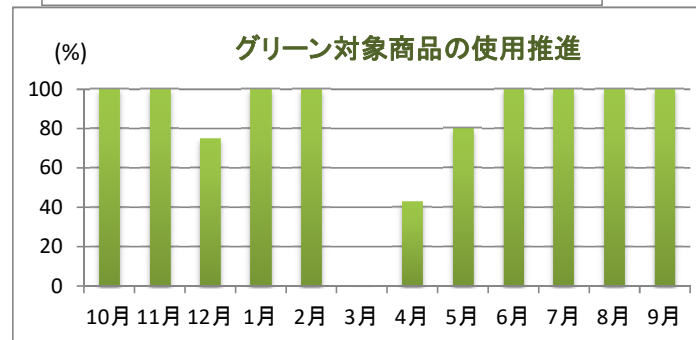
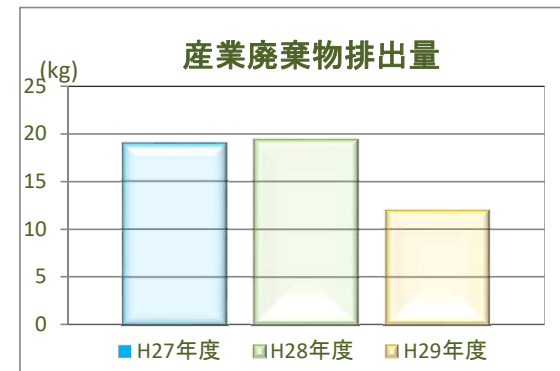
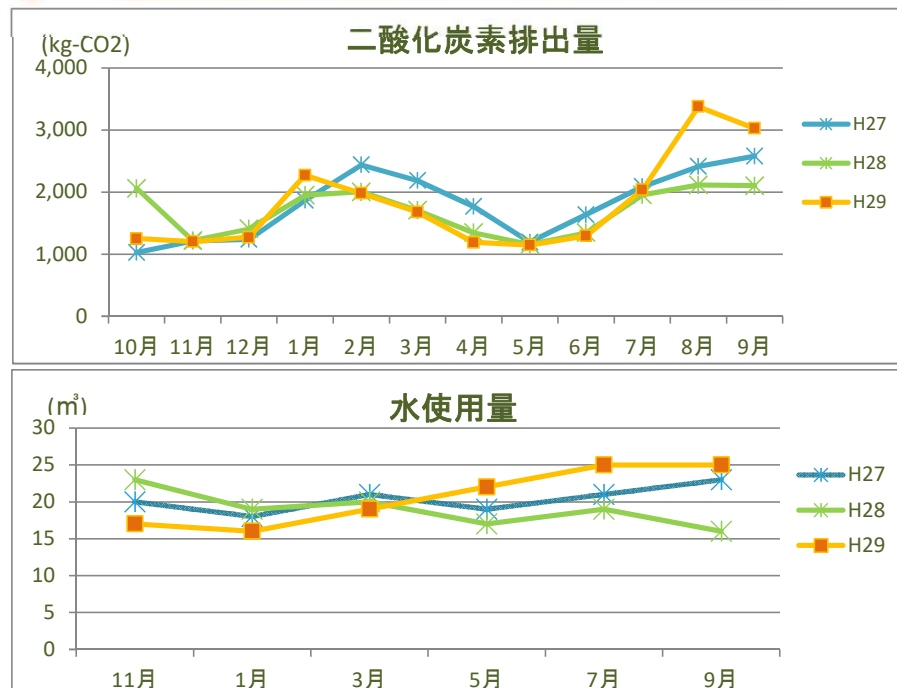
過去10年間の水使用量及び電力使用量。



過去10年間の従業員数、売り上げ及び佐賀県の最高最低気温



環境経営活動の取組結果と評価



＜二酸化炭素排出量＞ EVトラックの導入により、軽油の使用量が大幅に削減できている。

購入電力は昨年より1352KWh削減。目標を達成できた。

＜水使用量＞ 全員の節水意識は強い。目標は達成していないが、努力していく。

＜産業廃棄物排出量＞ 目標値をクリアしている。今後、さらに分別を徹底し、再資源化に努める。

＜グリーン対象商品の使用推進＞ 目標はクリアしている。次年度より環境経営目標をり削除するが、維持活動とする。

＜MG827シリーズ不良率の削減＞ 目標を達成している。維持できるように努力する。

＜省資源型製造方法の確立＞ 目標の年間2件の改善がなされている。このまま維持する。

＜製品のRoHS適合化＞ 製品に使用する材料を全てRoHS指令に適合したものを使用した。今後も継続する。

環境経営活動計画における次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減（全体）

- 電力使用量の削減
 - ◇業務に支障のない範囲で、照明の消灯を行なう。
 - ◇空調機で室温を、夏 28℃、冬 20℃ に定める。
 - ◇冬は防寒着を着用し、暖房による消費電力を抑える。
 - ◇半田ごてのプリヒーターの電源はこまめに消す。
 - ◇コピー機、パソコンは待機時に省エネモードに設定する。
 - ◇薪ストーブ、すだれ、水クーラーの設置により、消費電力を抑える。
- 灯油使用量の削減
 - ◇石油ストーブに頼らなくていいように防寒着などで工夫する。

水使用量削減（全体）

- ◇水道の蛇口はこまめに閉める。
- ◇洗面所、トイレなどに節水の張り紙を行う。

MG827シリーズの不良率の低減（製造部門）

- ◇ケーブル加工機の定期的なメンテナンス。
- ◇工程の改善。



省資源型製造方法の確立（製造部門）

- ◇生産性の向上。
- ◇ハンダ付けに頼らないような構成部品の設計見直し。

産業廃棄物量削減（全体）

- ◇分別回収を行ない、再資源化する。
- ◇廃棄物はマニフェストにより処理する。
- ◇文書の電子化、両面印刷や裏紙の使用などによりペーパーレス化。
- ◇ダンボール・新聞紙・雑誌等を古紙回収として再利用。

製品のRoHS適合化（全体）

- ◇製品に使用する材料を全てRoHS指令に適合した物を使用する。

軽油使用量の削減（全体）

- ◇駐停車時のアイドリングストップ、急発進、空ぶかしを抑制する。
- ◇同方向（使用目的）等の連絡を密にし、自動車使用の効率化を図る。

環境関連法規等の取りまとめと代表者による評価と見直し

違反・訴訟の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。また、関係当局よりの違反の報告也没有ありません。自主管理した結果の中でも問題ありませんでした。

代表者による評価と見直し

今シーズンより壁掛けの空調機を導入した(4kW×2台、2.2kW2台)。活動計画は設定温度を夏28℃としているが、実際には25℃除湿運転だった。試しに水クーラーを停止して、エアコンだけで運転してみたところ若干の能力不足であった。活動計画は室温を夏28℃以上、冬20℃以下に見直した方が現実的と感じる。